

專門分野

○小児看護学

- ・小児看護学概論
- ・小児看護学援助論Ⅰ
- ・小児看護学援助論Ⅱ
- ・小児看護学援助論演習

科目区分	専門分野	教育内容	小児看護学
授業科目	小児看護学概論	単位数(時間)	1単位(15 時間)
開講年次	2 年次後期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	有・無
<p>目的: 小児看護の特徴、成長・発達を含む子どもの特性を理解し、子どもとその家族を援助する看護職の役割を習得する。</p> <p>目標: 1 小児看護の特徴を理解し、子どもの権利を守る重要性を理解できる。 2 子どもの成長・発達を身体的・心理的・社会的側面から理解できる。 3 子どもの健全な養育に必要な環境を理解できる。 4 小児看護の役割が理解できる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	1 小児看護の理念・目的・対象、小児医療と看護の変遷、子どもの権利	準備:テキストを読む。 復習:授業内容を復習する。	
2	2 成長・発達の特徴 1)成長・発達の原則、乳児期、幼児期、学童期、思春期	準備:テキストを読んで、発達段階における成長・発達の特徴を調べる。	
3	2)発達評価 3)子どもにとっての家族	復習:授業内容を復習する。	
4	3 健全な養育環境、問題行動の防止 4 子どもの事故と安全対策	準備:テキストを読む。 復習:授業内容を復習する。	
5	5 子どもを取り巻く社会 1)児童福祉 2)母子保健と子育て支援	準備:テキストを読んで、子どもの福祉と保健に関する制度について調べる。	
6	3)成育医療、医療費支援 4)難病・障害児の保健福祉 5)子どもの虐待	復習:授業内容を復習する。	
7	6 セルフケアと保健教育 1)齲歯、近視、生活習慣病 2)性教育 3)子どもに特徴的な感染症と予防接種 4)学校保健	準備:テキストを読む。 復習:授業内容を復習する。	
	試験(1)		
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり		
評価方法	筆記試験、レポート		
テキスト	医学書院 小児看護学(1) 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 小児看護学(2) 小児臨床看護各論 インターメディカ 写真でわかる小児看護技術アドバンス		
参考文献	メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学(1)小児の発達と看護 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学(3)小児の疾患と看護 メヂカルフレンド社 小児看護学(1) 小児看護学概論 小児保健 メヂカルフレンド社 小児看護学(2) 健康障害をもつ小児の看護、メヂカルフレンド社		
履修上の留意事項	子どもの成長・発達の理解のもとに、小児看護について学習する科目である。 家族社会学や成長・発達に関わる科目を十分復習のうえ、授業に臨むこと。		

備考	
----	--

科目区分	専門分野	教育内容	小児看護学
授業科目	小児看護学援助論 I	単位数(時間)	1単位(20 時間)
開講年次	3年次前期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>目的: 子どもの健康の保持・増進および成長・発達を促すための基礎的知識と技術を習得する。</p> <p>目標: 1 子どもの健康障害の特徴と環境や状況に応じた子どもと家族への看護を理解できる。 2 子どもの成長・発達に応じた日常生活援助の方法を理解し、基本技術ができる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	1 日常生活援助技術 (演習) 1)安全 2)栄養(調乳、離乳食) 3)排泄(おむつ、トイレトレーニング) 4)更衣	準備:テキストや動画をみて技術を確認する。	
2	5)抱っこ 6)遊びと学習	復習:授業内容を復習する。 技術練習を行う。	
3	2 病気や障害をもつ子どもと家族の看護 1)病気・障害の理解	準備:テキストを読む。	
4	2)家族関係 3)ストレス反応	復習:授業内容を復習する。	
5	3 子どもの状況(環境)による看護の特徴 1)入院中の看護 2)外来の看護 3)災害時の看護 4)在宅の看護 5)施設での看護	準備:テキストを読む。 復習:授業内容を復習する。	
6	4 障害のある子どもの看護 1)発達障害、重症心身障害児、医療的ケア、リハビリテーション、多職種連携、地域連携	準備:テキストを読む。 HP 等で病院の特色を調べまとめる。	
7	2)障害児医療病院の見学	復習:見学レポートをまとめる。	
8	4 療育・特別支援教育の実際 1)療育の場や特別支援学校の見学	準備:テキストを読む。HP 等で学校の特色を調べまとめておく。 復習:見学レポートをまとめる。	
9 (3h)	5 子どもの健康障害の特徴と状況に応じた子どもと家族への看護 ※施設見学を通しての学びを踏まえたグループワーク	準備:1~8回までの講義・施設見学の学びを復習する。 復習:授業内容を復習する。	
10 (1h)	試験		
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり		
評価方法	筆記試験、レポート、グループワークの参加状況		
テキスト	医学書院 小児看護学(1) 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 小児看護学(2) 小児臨床看護各論 インターメディカ 写真でわかる小児看護技術アドバンス、		

参考文献	メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学(1)小児の発達と看護 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学(3)小児の疾患と看護、 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 小児看護学(1) 小児看護学概論 小児保健、 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 小児看護学(2) 健康障害をもつ小児の看護、
履修上の 留意事項	
備考	

科目区分	専門分野	教育内容	小児看護学
授業科目	小児看護学援助論Ⅱ	単位数(時間)	1単位(20時間)
開講年次	3年次前期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	有 ・ 無
<p>目的: 健康障害や症状・経過に応じた子どもの看護を実践するための基礎知識と援助技術を習得する。</p> <p>目標: 1 健康障害をもつ子どもの看護の特徴を理解できる。 2 症状や経過に応じた看護を理解できる。 3 看護技術の原則と具体的な支援方法を習得できる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	1 急性期にある子どもの看護 1)急性症状のアセスメント 発熱、けいれん、嘔吐・下痢、呼吸困難、脱水、誤飲、熱傷、溺水 2)周術期	準備:テキストを読む。 復習:授業内容を復習する。	
2	3)感染症・胃腸炎で入院した子どもの看護(演習) (1)持続輸液管理法(固定・敵数調整) (2)おむつ交換 (3)更衣	準備:疾患・治療・看護をまとめる。テキストや動画で技術を確認する。 復習:授業内容を復習する。	
3	4)手術をうける子どもの看護(演習) (1)採血 (2)採尿	準備:疾患・治療・看護をまとめる。テキストや動画で技術を確認する。 復習:授業内容を復習する。	
4	(3)酸素療法 (4)プレパレーション		
5	2 慢性期にある子どもの看護 1)子どもと家族の特徴、移行期支援、多職種連携 2)1型糖尿病	準備:テキストを読む。 復習:授業内容を復習する。	
6	3)気管支喘息の看護(演習) (1)吸入療法、与薬(薬剤の形状と年齢に応じた与え方)	準備:疾患・治療・検査・看護をまとめる。テキストや動画で技術を確認する。 復習:授業内容を復習する。	
7	3 小児がんの看護(演習)	準備:テキストや動画で技術を確認する。 復習:授業内容を復習する。	
8	1)骨髄穿刺、腰椎穿刺		
9	4 終末期にある子どもの看護 1)死の概念の理解、デスエデュケーション 2)身体・心理面のケア 3)家族への支援	準備:テキストを読む。 復習:授業内容を復習する。	
10	筆記試験(1)		
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり		
評価方法	筆記試験、レポート等		
テキスト	医学書院 小児看護学(1) 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 小児看護学(2) 小児臨床看護各論 インターメディカ 写真でわかる小児看護技術アドバンス		

参考文献	メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学(1)小児の発達と看護 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学(3)小児の疾患と看護 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 小児看護学(1) 小児看護学概論 小児保健 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 小児看護学(2) 健康障害をもつ小児の看護
履修上の 留意事項	
備考	

科目区分	専門分野	教育内容	小児看護学
授業科目	小児看護学援助論演習	単位数(時間)	1単位 (15 時間)
開講年次	3 年次	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
目的: 小児看護の特徴を踏まえ、子どもと家族の看護を実践するための基礎知識と技術を習得する。			
目標: 1 看護援助に必要な技術を環境や状況にあわせて実施できる。 2 健康障害をもつ子どもと家族への看護の展開ができる。			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	1 入院している子どもと家族の特徴、療養環境、家族のアセスメント	準備:テキストを読み、概要を理解する。 復習:授業内容を復習する。	
2	2 フィジカルアセスメント、身体計測 (演習)	準備:テキストや動画で技術を確認する。	
3		復習:授業内容を復習する、技術練習を行う。	
4	3 看護過程の展開(事例:白血病) 1)事例紹介 2)アセスメント 3)看護上の問題の考え方	準備:疾患・検査・治療・看護についてまとめる。 復習:授業内に説明する。	
5	4)目標設定 5)計画立案の考え方	準備:看護過程の考え方を整理する。 復習:授業内に説明する。	
6	6)事例をもとに計画した援助の実施(演習) (観察、環境整備)	準備:別途授業内に説明する。	
7		技術練習(できるようにしておく) 復習:授業内に説明する。	
8 (1h)	試験、まとめ		
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり		
評価方法	筆記試験、レポート、授業態度		
テキスト	医学書院 小児看護学①小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 小児看護学②小児臨床看護各論 インターメディカ 写真でわかる小児看護技術アドバンス		
参考文献	メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学(1)小児の発達と看護 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学(3)小児の疾患と看護 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 小児看護学(1) 小児看護学概論 小児保健 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 小児看護学(2)健康障害をもつ小児の看護		
履修上の留意事項	小児看護学の既習学習で学んだ知識・技術を活用することが求められるため、十分に準備して臨むこと		
備考			